

第6回市民会議資料

平成27年9月29日



株式会社 日本経済研究所
Japan Economic Research Institute Inc.

目次

テーマ:ストップ人口減少

～生産年齢人口、交流人口の増加に向けて～

0. 今後のスケジュール

1. 本日の狙い／テーマについて

2. 作業1:各自のアイデアの披瀝

3. 作業2:分科会別の順位付け

4. 発表

今後のスケジュール

9月(今回) 分科会意見のとりまとめ(市担当者オブザーバー参加)

→これまでのWSの成果のとりまとめ

10月 市との対話

→各分科会とりまとめ意見について市担当課がコメント&ディスカッション

11月 まとめ1回目(これまでのとりまとめ案の提示を予定)

12月 まとめ2回目

1月 予備開催日

本日の狙い

今後のスケジュールに示されているとおり、委員の方々から意見を広くご提案頂くワークショップ形式での開催は今回が最後となる予定です。

次回からは、第7次総合計画の策定に向けて、市との協働作業が始まります。そのため、今回は、テーマも設定されていますが、これまでの議論の整理やまとめという意味合いも持って開催したいと思います。

本日のテーマについて

まちの状態を測る指標として、「人口」は非常に重要です。人口減少に歯止めをかけて、人口を定着させていくには、会津若松が「暮らしやすいまち」＝「暮らしたくなるまち」であり、また、「訪れたいまち」＝「訪れて良かったまち」であることが重要と考えられます。

これまでの市民会議において色々と議論してきましたが、今、住んでいる人々が住み続けるだけでなく、市外の人々を惹きつけ、仲間に入りたくなるようなまちであるためには、以下のような要件が必要と考えられます。

○会津らしい特色（歴史、文化、自然、人…）

○住んでいる人の自分のまちに対する誇り（自分のまちを“良いまち”と言える）

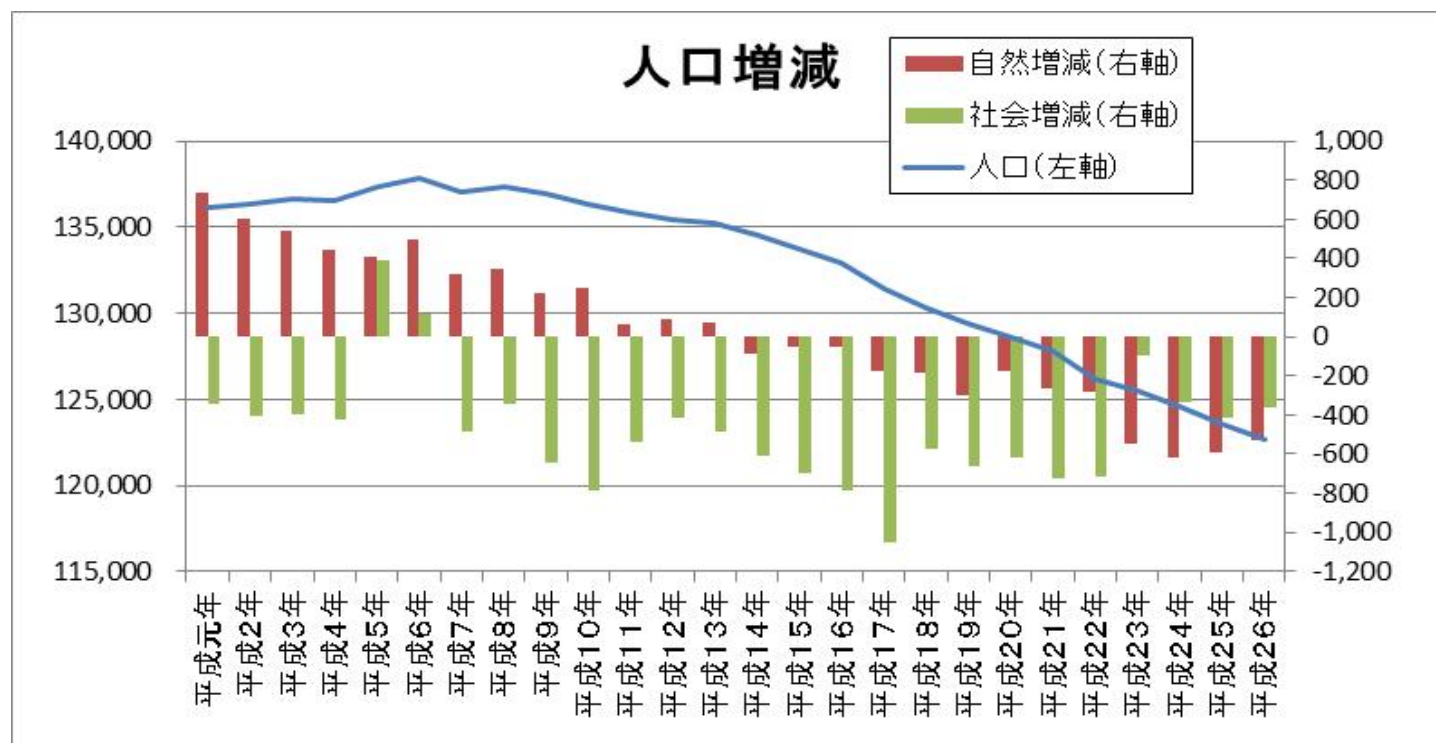
○生き生きと暮らしている（自分のまちが好き）

もちろん、雪など克服しなくてはいけない課題もたくさんありますが、それらがあってもなお、ここに住みたいという人が現れなければ、人口は減る一方になることが予想されます。

従って、今回の「ストップ人口減少！」というテーマは、今後のまちづくりを考える上で不可欠であり、まさにまとめにふさわしいものと言えます。

(参考1)人口の社会増減と自然増減

- 平成6年まで、自然増が社会減を上回る形で人口が増加してきました。
- 平成13年までは社会減が自然増を上回り人口が減少しています。
- 平成14年以降は、自然減と社会減で人口が減少しています。
- 平成25年の社会減を見ると、県外への転出が多くなっています。



(参考)平成25年の社会増減

	転入	転出	増減
県内	1,877	1,864	13
県外	1,798	2,140	-342
外国等	152	221	-69
計	3,827	4,225	-398



(出所)国勢調査及び県住人口調査

(参考2) 人口の社会増減と自然増減(比較)

人口の増減動向

		H17	H22
会津若松市	総人口	131,389	126,220
	社会増減		-1,588
	自然増減		-3,581
	増減		-5,169
長野県軽井沢町	総人口	17,144	19,018
	社会増減		769
	自然増減		1,105
	増減		1,874
新潟県湯沢町	総人口	8,713	8,396
	社会増減		198
	自然増減		-515
	増減		-317
熊本県南小国町	総人口	4,687	4,429
	社会増減		11
	自然増減		-269
	増減		-258
島根県海士町	総人口	2,581	2,374
	社会増減		123
	自然増減		-330
	増減		-207

○社会増減の要因

- 都市の規模？
- 交通機関？
- 地域資源？
- 立地(大都会との距離)？

(出所) 国勢調査

作業1

○事前作業についてポストイットに記入

＜記入シート記入例＞

- ・公園等公共施設の美化活動
- ・高齢者の見守り活動
- ・会津の歴史を子供たちに伝える活動
- ・町内交流会の立ち上げ
- ・転勤者、移住者などに対する交流支援
- ・インバウンド対応通訳ボランティア
- ・高校生を中心にした新しいイベント交流
- ・会津大学の学生支援
- ・会津らしい新商品や食の開発
- ・ICTを活用した市外市民への広報活動と草の根交流

○各自の発表(5分×8人)

ポストイットを貼りながら発表

作業2

テーマである「ストップ人口減少」に向けて、各分科会毎にどのような取り組みをおこなうか、その主張を取りまとめ、発表します。

今回は、例えば、次のような視点について、ランキングをおこない、上位3つ程度選出します。無理にストーリーをつくる必要はありません。

上位に選出されなかった提案、アイデアについては、残しておき、その他の考えとして、発表の最後にまとめて取り上げてください。

(まとめイメージ)

- ・緊急度：すぐにできるもの
- ・重要度：絶対必要
- ・レベル感：理念 \leftrightarrow 具体

<ポストイット添付領域イメージ>

	重要度	緊急度
理念		
具体		



ありがとうございました。